

第22回電波功績賞表彰式が開催されました

6月10日、第1回定時総会に引き続き、第22回電波功績賞表彰式が開催され、森田総務大臣政務官から総務大臣賞の表彰状が授与されました。また、当会の中鉢会長から一般社団法人電波産業会会長賞の表彰状が贈呈されました。

表彰状受領後、受賞者を代表して株式会社 NTT ドコモ 代表取締役社長 山田 隆持 様よりご挨拶がありました。



第22回電波功績賞を受賞された皆様



表彰式における
中鉢会長のご挨拶



表彰式における
森田総務大臣政務官のご祝辞



表彰式における
羽鳥選考委員長のご挨拶

1 総務大臣賞の表彰

(1) 「LTE システムの開発・実用化」

株式会社NTT ドコモ LTE 開発グループ

代表 山田 隆持 殿 (株式会社NTT ドコモ 代表取締役社長)

移動通信分野において、高速伝送が可能な LTE システムを開発するとともに国際標準化活動を展開し、我が国初の 75Mbps サービスの提供により、電波を有効に利用した移動通信システムの実用化に大きく貢献した。

(2) 「宇宙ステーション補給機 HTV 近傍接近システム通信技術の開発」

独立行政法人宇宙航空研究開発機構 有人宇宙環境利用ミッション本部宇宙ステーション回収機研究開発室

代表 鈴木 裕介 殿 (独立行政法人宇宙航空研究開発機構 有人宇宙環境利用ミッション本部 宇宙ステーション回収機研究開発室 室長)

三菱電機株式会社 HTV 近傍接近システム通信技術研究開発グループ

代表 小西 善彦 殿 (三菱電機株式会社 情報技術総合研究所アンテナ技術部 部長)

宇宙ステーション補給機 HTV において、データ中継衛星を経由する長距離通信とランデブー制御の超近距離通信を行うための近傍接近通信システムを開発し、その技術が米国航空宇宙局にも採用されるなど、電波を有効に利用した宇宙通信システムの実用化に大きく貢献した。

2 社団法人電波産業会会長賞の表彰

(1) 「電磁妨害波測定法及び測定器の開発と CISPR 等における国際標準化への貢献」

エヌ・ティ・ティ・アトバンテクノロジー株式会社 CISPR 国際標準化・開発グループ

代表 雨宮 不二雄 殿 (エヌ・ティ・ティ・アトバンテクノロジー株式会社 ネットワークシステム事業本部 システム開発ビジネスユニット EMC チーム 主幹担当部長)

日本電信電話株式会社 CISPR 国際標準化・開発グループ

代表 秋山 佳春 殿 (日本電信電話株式会社 環境エネルギー研究所 エネルギーシステムプロジェクト主幹研究員)

株式会社電磁環境試験所認定センター CISPR 国際標準化・開発グループ

代表 長部 邦廣 殿 (株式会社電磁環境試験所認定センター 認定業務部 部長)

電磁環境分野において、情報技術装置から放出される電磁妨害波の抑制に必須となる測定法と測定器を研究開発し、その成果を CISPR 等の国際標準に反映させ、良好な電磁環境の維持に必要な測定技術の実用化に大きく貢献した。

(2) 「C帯気象レーダ狭帯域化技術の開発」

株式会社東芝電波通信技術／気象防災グループ

代表 安藤 康浩 殿 (株式会社東芝 社会システム社 小向工場電波通信技術
部部長)

無線通信分野において、超伝導共振器と空洞共振器を用いたハイブリッドフィルタ技術及び固体化送信機技術により、性能を劣化させることなく、使用周波数帯域幅を従来の1/2とし、電波を有効に利用した気象レーダシステムの実用化に大きく貢献した。

(3) 「地上デジタルテレビジョン放送の難視聴解消に向けたギャップフィルアーの実用化促進」

株式会社NHK アイテック 地上デジタル放送の難視聴解消に向けたギャップフィルアーの実用化促進グループ

代表 中西 義明 殿 (株式会社NHK アイテック 代表取締役社長)

放送分野において、地上デジタルテレビジョン放送の難視聴解消に向け、全国の山間部や地下街に同一周波数ネットワークを基本とする多数のギャップフィルアー局を設置し、ワンセグ受信も可能とするなど、電波を有効に利用したギャップフィルアー技術の実用化に大きく貢献した。

(4) 「ミリ波帯ハイビジョンワイヤレスカメラの開発」

ミリ波モバイルカメラ開発チーム

代表 池田 哲臣 殿 (日本放送協会 放送技術研究所 主任研究員)

放送分野において、ミリ波帯の広帯域性による高画質・低遅延伝送とともにMIMO伝送技術による高信頼伝送を可能とするハイビジョン用ワイヤレスカメラを開発し、電波を有効に利用したハイビジョン伝送の実用化に大きく貢献した。

(5) 「軽量人体ファントムの開発及び実用化による携帯端末無線性能評価の高度化」

新井 宏之 殿 (横浜国立大学 大学院工学研究院 教授)

田中 稔泰 殿 (マイクロウェーブファクトリー株式会社 代表取締役社長)

天野 良晃 殿 (株式会社KDDI 研究所 研究主査)

酒井 貴仁 殿 (KDDI 株式会社 課長補佐)

移動通信分野において、人体の電磁的特性を模擬した軽量人体ファントムを開発し、人体が携帯端末の無線性能に与える影響を、効率的に高精度かつ三次元で測定できる携帯端末の無線性能評価システムの実用化に大きく貢献した。



受賞者を代表して 株式会社NTTドコモ 代表取締役社長 山田 隆持 様
のご挨拶



第22回電波功績賞表彰式終了後の全員による記念撮影

後列左側から

酒井様、天野様、田中様、池田様、中西様、安藤様、長部様

前列左側から

秋山様、雨宮様 羽鳥委員長、森田政務官、中鉢会長、山田様、鈴木様、小西様